資料２

平成２６年度 第３回 評価委員会の意見要旨

議事（３）中期目標期間終了時の業務継続等の検討に係る意見について

・全体的に、地方独立行政法人にスムーズな移行ができており、問題ない。市立病院としての伝統を守り、がんばってもらいたい。
・地域の中核病院として真摯にがんばっている。
・具体的な収益確保策や費用の削減方法を明確にしていってもらいたい。また、コンプライアンスについても引き続き、積極的に取り組んでいってもらいたい。
・安全・安心な医療提供はもちろんだが、市民へのサービス向上も重要である。
・専門性の高いスタッフをより確保し、患者ケアに活かすことで、ますます発展していく。専門性の高いスタッフがインセンティブを感じるような働きやすい環境を整備し、人材育成にも力を入れていってもらいたい。
・収益を確保するため、大変、努力しており、収入を上げる取り組みが実を結んでいる。一般企業でもそうだが、費用削減のみでは発展性が阻害される。
・医師をはじめ、看護師や他の医療スタッフなど全ての職員が、同じ方向を向いて進んでいるように感じる。
・新病院の開院もあり、次のステップに向かって発展を続けていってもらいたい。

議事（４）第２期　中期目標の方向性と概要について

・目標期間を 5 年にすることには賛成。2025 年問題を考えた場合、5 年を 2 回というサイクルで考えた方がよい。
・最初、5 年間の目標、計画は少し長いと感じたが、実際の取り組みは年度計画に落とし込み実行することになるので、ここで修正ができ、大枠については、5 年間の設定でもよい。
・長期的な考え方を示していただき、その中で第 1 期フェーズとしてここまで達成するとした方が理解しやすいと思う。
・今後も、急性期医療、高度医療を担っていく病院で在り続けると思うので、将来的にどのような病院を目指しているのかがあった方が分かりやすいと感じた。
・これからは、ますます在宅医療が重要となり、急性期病院も地域との連携が大切になる。在宅医療に関しては、この観点に基づいての目標設定があり、これでよいと思う。
・これからのキーワードは、チーム医療や多職種連携である。これらのキーワードは中期目標の本文に使用してもらいたい。